

# 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時	平成25年6月18日(火) 13:50~16:30
場 所	川本町立川本中学校・同町内各所
対 象	1年生生徒21名
指導者	学級担任 世界遺産室 2名 石見銀山世界遺産センター職員 1名

## 1. 主 題 ふるさと川本の文化財めぐり ～石見銀山への道～

### 2. ねらい

○川本町の歴史や文化財の学習を通して、身近な地域の文化財や歴史学習への興味や関心を高めるとともに、ふるさとに対する愛着の気持ちを持つ。

○各文化財を訪れる体験を通して、世界遺産「石見銀山」と川本町のつながりや、人々の生活の様子・知恵・技術等について考えてみる。

### 3. 展 開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
13:55 (30分)	<b>今日の学習の流れを確認しよう</b>	・職員及び世界遺産センターの紹介をする。 ・学習の内容やねらいを説明する。	担任 職員
14:35 (10分)	<b>江の川と人々の関わりを学ぼう</b> ・木谷の九重石塔の場所を確かめる ・井戸碑の文に人々の思いをしる	・石塔が寺院の存在を示すことや、因原は寺院があるような河川交通の要所だったことを説く。 ・人々が井戸代官に感謝したことを知らせる。	職員
15:10 (20分)	<b>小笠原氏と石見銀山の歴史を探ろう</b> ・丸山城の特徴・立地を知る ・小笠原氏と銀山の関係を考える	・近世城郭とくらべさせながら、それと異なる丸山城のようすを想像させる。 ・小笠原氏の銀山への影響力に注目させる。	職員
15:45 (20分)	<b>石材やたたら製鉄など特産にふれよう</b> ・創天秤鞆記碑前でたたらをイメージ ・弓ヶ峯八幡宮の石材産地を推測	・たたらイラストパネルを示し、近世～近代は製鉄が地域の主産業で、ふいごが重要と話す。 ・石材産地を説明し、水運の重要性を話す。	職員
16:15 (15分)	<b>学習のまとめをしよう</b>	・感想発表をする。(時間があれば) ・職員はまとめを話し、アンケートを依頼する。	担任 職員

※学習活動で準備する物

(教委・生徒) バス 筆記用具 (世界遺産室) 学習資料: 地図 年表 解説文